

朝倉市防災会議会議録

1 日 時

平成28年6月6日（月）午後1時30分～午後2時30分

2 場 所

朝倉市役所別館2階第2会議室

3 出席者

委員 森田俊介（朝倉市長）、太田幸一（筑後川河川事務所長代理 防災情報課長）、大西昌弘（陸上自衛隊小郡駐屯地第9施設群長）、濱口卓三（朝倉県土整備事務所長）、関保昌（朝倉農林事務所長）、半田一宏（朝倉警察署長）、大楠喜彦（甘木・朝倉消防長）、堀内善文（朝倉市副市長）、宮地ミドリ（朝倉市職員）、中山玲子（朝倉市職員）、宮崎成光（朝倉市教育長）、山内明（朝倉市消防団長）、井手満浩（九州電力㈱甘木配電事業所長代理 配電技術グループ長）、空閑和信（朝倉市自主防災会会長会会長） 委員計 14名

事務局 鶴田浩（総務部長）、草場千里（防災交通課長）、中村敬一郎（防災交通課消防防災係長）、矢野智大（防災交通課主査） 事務局計 4名

4 会議録

司会進行：【草場防災交通課長】

（1）開会のことば【鶴田総務部長】

（2）会長あいさつ【森田市長】

（3）辞令交付

今回、異動等により新たに任命する委員は4名。代表して、名簿順位が一番高い朝倉警察署長 半田一宏氏へ辞令を交付する。

（4）委員紹介

森田市長より自己紹介。名簿順に従って、各委員も自己紹介。最後に事務局も自己紹介を行う。

(5) 協議・報告事項

議長：【森田市長】

ア 防災会議について【草場防災交通課長】

防災会議委員名簿、防災会議条例について説明。

イ 朝倉市地域防災計画の改訂について【中村消防防災係長】

平成27年度から進めてきた朝倉市地域防災計画の改訂の経過を説明し、最終改訂の報告を行う。計画本文・資料編・概要版を配布しているが、概要版にもとづき、改訂のポイントについて説明。

●【空閑委員（自主防災会会長会会長）より】

平成24年の九州北部豪雨災害の意識が薄れてきているように感じる。今後は、実働的な対策に力を注いでいくべきである。自主防災組織の活動をより強化させるためにも、消防署OBや消防団の協力が必要であるため、ぜひ協力をお願いしたい。

※ その他、空閑委員より筑後川の浚渫に関する質疑がなされたが、防災会議の性質上適さないため、議長により制された。

ウ 市の防災対策について【中村消防防災係長】

① 平成27年度防災関連事業実施報告

平成27年度に実施した防災関連事業について説明。

② 平成28年度防災関連事業計画

平成28年度に実施予定の防災関連事業について説明。主に地域防災計画改訂を受けての今後の防災対策の向上に向けての事業となる。

●【大西委員（自衛隊小郡駐屯地第9施設群長）より】

平成27年度防災関連事業実施報告の中にある「(株)アクティオとの災害時におけるレンタル機材の提供に関する協定書」はどのような内容ですか？

⇒【事務局より】

災害時に(株)アクティオ保有のレンタル機材を優先的に市に提供していただけるような内容です。ただし、民間業者や市民の方などが先に機材をレンタルしていれば、市に提供できないようなケースもあります。

エ その他（熊本地震の被災避難者への支援について）【草場防災交通課長】

熊本地震の被災避難者への支援について朝倉市の取り組みを報告。

オ 各委員からの意見交換

●【山内委員（消防団長）より】

災害時における資材発注等の手続きについて確認したい。消防団が直接発注して良いか、市を通して発注するべきか、市を通すとしたら建設課か防災交通課か等の問題がある。

⇒【事務局より】

基本的には、市を通しての発注が望ましい。

⇒【森田会長（市長）より】

（事務局に対して）整理するように。

●【大西委員（自衛隊小郡駐屯地第9施設群長）より】 ※追加資料

追加資料にもとづき、陸上自衛隊小郡駐屯地第9施設群の平成28年熊本地震における活動の報告がなされた。また、今回の熊本地震から抽出された課題について情報共有がなされた。

(6) 閉会のことば【鶴田総務部長】